

ゼミ活動報告

「1 期生卒業旅行～洞爺湖編～」

木村 大悟

北海道旅行も2日目を迎え、僕たちは札幌から洞爺湖へと移動しました。初日の札幌が思っていたよりも寒くなかったので「洞爺湖も思ったほど寒くないだろう」と調子に乗っていた僕は、洞爺湖について途端寒さに打ちのめされました。初日の札幌がたまたま暖かい日であっただけで、冬の北海道はやっぱり寒かったです。あまりの寒さに予定していたお店でなく近場のラーメン屋で昼食をとりましたが、ラーメンの温かさが余計に身体に沁み渡りました。

ラーメンを食べて体を温めた後、僕たちはスノーシューと呼ばれる特別な靴を履いて洞爺湖の周りを散策しました。スノーシューを履くと雪の中に足が沈まず、普通の靴では入ることができない雪深い場所へ入っていくことができます。しかし柔らかい新雪の上を歩くのはなかなか難しく、中には雪に足を取られてふかふかの雪の上で転んでしまう人もいました。



背景は洞爺湖・中島（左上）。
空気が澄んでいて景色がとてもきれいでした。

散策を進めると徐々に周りの建物も見えなくなり、一面に真っ白な景色が広がりました。元気のある人は足跡もない真っ白な雪原の上を思い切り走り回っていました。もちろん僕もその中の1人です。なかなか思うように走ることはできないのですが、一步一步を踏みしめながら走る独特の感触が楽しく、思わず、走り続けてしまいました。また2メートルくらいの高さのある場所からの飛び降りにもチャレンジしました。高所から勢いよく飛び降りても、新雪が柔らかいため全く痛くないことに驚きました。普段大阪ではできない遊びができてとても楽しかったです。



はしゃぐ人のイメージ図です。

散策も終盤に差し掛かったころ雪上で小休憩を取りました。野生の動物が吹雪から身を守るために大きな木の後ろに隠れる様に習って僕たちも木の陰で休みました。木陰では吹き付ける風が弱くなり心なしか暖かささえ感じたのが印象的でした。ガイドの方が暖かいお茶とお菓子を用意して下さったのですが、お茶は冷えた体を芯から温めてくれとても美味しかったです。

みんなの体も温まってから最後に、人文字で MIYAGAWA を作りました。北海道の大自然と宮川ゼミ生の団結力を写すことができた一枚だと自画自賛しています。後に先生がこの写真を Facebook にアップしたところ「いいね！」が殺到したと伺い嬉しかったです。



洞爺湖での散策を終えた後、僕たちは宮川先生のお知り合いの小林さんにアレンジしていただいた宿泊先に戻りました。宴会の前に、冷えた体を温泉で温めました。広い温泉の中で体を伸ばすと、雪の中を歩き回った疲れが、体の先から出ていく感じがしました。宴会では、北海道の食材をふんだんに使った和食をいただきました。刺身から鍋まで、色々な料理を味わいました。散策の疲れを温泉で癒した後、北海道の料理を堪能しました。北海道で過ごす最後の夜ということで、宴会は非常に盛り上がりました。

この北海道旅行を行うにあたって宿泊先のアレンジや観光先の紹介など、小林さんには様々にお世話していただきました。最後となりますが本当にありがとうございました。そして、いまに一、ようへいさん、北海道旅行の企画に携わったみんな、思い出深い旅行を企画してくれて本当にありがとう。